平成 29 年度アスベスト大気環境調査結果

大気環境部

飯島 史周 齋藤 由実子 金田 治彦1 大塚 香穂里2 石原島 栄二 (1 現工業振興課 2 現下水道管理事務所)

1 はじめに

アスベスト(石綿)は、耐熱性、耐薬品性、絶縁 性などの優れた物性を持っているため、かつては工 業原料として各方面にわたって幅広く利用されてき た。しかし、大気環境中に飛散したアスベストを吸 入することにより、石綿肺、肺がん、中皮腫等の健 康障害が引き起こされることが明らかとなった。こ のため、国は平成元年に大気汚染防止法を改正し、 石綿その他の人の健康に被害を生ずるおそれがある 粉じんを特定粉じんとし、規制基準を設けた。

栃木県では、平成17年度から「一般環境中におけ るアスベスト調査計画」に基づき、継続的に県内の 大気中アスベスト濃度の調査を行ってきた。また、 これまで国内で製造、使用されていたアスベスト製 品の大部分はクリソタイルが主成分であったため、 クリソタイルを中心とした調査内容であった。

その後、平成22年6月に、アスベストモニタリン グマニュアル第 4.0 版 $^{1)}$ が示された。これは、アス ベストによる健康影響が社会問題化する等の近年の 社会情勢の変化により、アスベストの発生源として の石綿製品製造工場が存在しなくなり、アスベスト の主な発生源が解体現場等に変化したこと、クリソ タイル以外のアスベストの排出も懸念されるように なったことに対応したものであり、クリソタイル以 外のアスベストについても定性、定量する調査方法 に拡張された。また、平成29年7月には、アスベス トモニタリングマニュアル第 4.1 版²⁾ (以下、「マ ニュアル第4.1版」という。)が示され、解体現場 における負圧除塵排出口の測定法について追加があ り、本県においても、マニュアル第4.1版に移行し、 調査を実施している。

本報告は、平成29年度に実施したアスベスト大気 環境調査の結果である。

2 調査方法

2.1 概要

マニュアル第4.1版2)に従い、調査を実施した。

2.2 調査地点

測定地域区分 2)に従い、以下に示すとおり、一般 環境のバックグラウンド地域として住宅地域3地域 6 地点、沿道地域として幹線道路沿線の1地域2地 点を選定し、調査を実施した。

2.2.1 バックグラウンド地域

- ① 県北地域(大田原市)
 - ・栃木県県北健康福祉センター

- ② 県央地域 (宇都宮市)
 - ・栃木県精神保健福祉センター
 - ・栃木県保健環境センター

· 栃木県那須庁舎別館

- ③ 県南地域(小山市)
 - ・栃木県県南健康福祉センター
 - · 小山市役所小山東出張所

2.2.2 沿道地域

県南地域(小山市)

- 小山市中央町交差点
- 小山市役所

2.3 サンプリング実施日

平成 29 年 12 月 4 日~12 月 6 日 (連続 3 日間)

2.4 試料採取方法

直径 47mm、平均孔径 0.8 μm のメンブランフィル ターをオープンフェイス型フィルターホルダーにセ ットし、10L/min の流速で 1 日あたり 4 時間 (概ね 午前10時~午後2時)ずつフィルターに捕集した。 この操作を3日間行い、1日ごとに個別のフィルタ ーに捕集した。

なお、試料の採取については業者委託とした。

2.4 測定方法

以下のとおり、位相差顕微鏡法²⁾(以下、「PCM 法」という。)にて総繊維数濃度を測定した。捕集 面を下にしたメンブランフィルター(1/4 片)をス ライドガラスの上に置き、アセトン蒸気発生装置 (QuickFix model 2122A) を用いて透明化処理を行 った。次いでトリアセチンをフィルターに滴下し、 カバーガラスを上に置いて固定した後、位相差顕微 鏡 (01ympus BX51) を用いて繊維数を計数した。な お、総繊維数濃度が 1f/L を超えた試料については、 走査型電子顕微鏡法²⁾による確認試験が必要となる が、今回該当する検体はなかった。

3 調査結果

各調査地点における、気象等を含む調査概要と PCM 法による測定結果を表1に示す。

PCM 法による各地点の大気中総繊維数の幾何平均 濃度は、バックグラウンド地域では N.D. ~ 0.13f/L、沿道地域では 0.089 ~ 0.14f/L であった。 前年度結果 3)と比較すると、バックグラウンド地域 は県央と小山東出張所でわずかに高くなり、沿道地 域は小山市中央交差点の濃度が低くなったが、小山

市役所は高くなった。いずれのサンプリング実施日 においても、総繊維数濃度が 1f/L を超えた地点はな かった。また、バックグラウンド地域と沿道地域の 総繊維数に明確な違いは見られなかった。

4 参考文献

1) 環境省水・大気環境局大気環境課,アスベスト

モニタリングマニュアル (第 4.0 版), 平成 22 年6月

- 2) 環境省水・大気環境局大気環境課,アスベスト モニタリングマニュアル (第 4.1 版), 平成 29 年7月
- 3) 栃木県保健環境センター年報,第22号,2017

表 1 平成 29 (2017) 年度アスベスト大気環境調査結果 (PCM 法)

調査地点		バックグラウンド地域																	
		県北(県北健康福祉センター)			県北(県那須庁舎別館)			県央(精神保健福祉センター)			県央(保健環境センター)			県南(県南健康福祉センター)			県南(小山市役所小山東出張所)		
調	査 日	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6
天	候	排	晴れ	晴れ	摄	晴れ	晴れ	晴れ	量	晴れ	晴れ	量	晴れ	麒	晴れ	晴れ	推	晴れ	晴れ
採取開始時刻		10:40	10:00	10:00	11:05	10:18	10:29	10:13	10:18	10:35	10:00	10:00	10:00	10:39	10:00	11:00	10:47	10:05	11:25
採取終了時刻		14:40	14:00	14:00	15:05	14:18	14:29	14:13	14:18	14:35	14:00	14:00	14:00	14:39	14:00	15:00	14:47	14:05	15:25
採取方向		南南東			東北東			東			東		北北東		南南西				
近隣の主要車道		国道400号線		大田原高林線		国道4号線		国道4号線		小山結城線		小山結城線							
開始	風向	北北東	南南東	北東	北東	南南西	北東	北	南東	東	北	東	東	北東	西北西	北北東	北東	西	東
	風速(m/s)	<0.5	<0.5	1.2	<0.5	1.7	2.0	<0.5	0.6	0.9	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.7	0.6	0.6	1.4	<0.5
終了	風向	東北東	南南東	北東	北西	北東	北東	静穏	南	南東	東	東	東	北東	北西	東南東	北東	西	北東
	風速(m/s)	<0.5	1.5	1.3	0.8	2.1	0.7	<0.5	0.6	0.8	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	0.5	0.9	0.6	1.3	0.6
採取時間 (hr)		4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
探 気	量 (L)	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400	2400
位相差顕微鏡 (PCM法)	総繊維数濃度(f/L)	< 0.056	0.0851	<0.056	< 0.056	<0.056	<0.056	0.0851	<0.056	<0.056	0.0851	0.113	0.113	0.132	0.142	0.128	< 0.056	<0.056	0.198
	総繊維数幾何平均 濃度(f/L)	0.064			N.D.			0.064		0.10		0.13		0.085					
備考																			

調査	沿道地域								
阿田	小山	市中央町交	差点	小山市役所					
調	査 日	12/4	12/5	12/6	12/4	12/5	12/6		
天	候	亜	晴れ	晴れ	歪	晴れ	晴れ		
採取開	11:57	10:35	10:23	11:54	10:25	10:00			
採取終	15:57	14:35	14:23	15:54	14:25	14:00			
採取方向(採取方向(対象車道)			線)	東南東(国道4号線)				
開始	風向	東北東	西	東北東	北東	南西	北東		
I#190	風速(m/s)	<0.5	0.6	0.5	<0.5	1.3	0.7		
終了	風向	北東	南西	北東	北東	南	北東		
44. I	風速(m/s)	<0.5	0.7	0.6	1.3	2.1	2.7		
採取時	採取時間(hr)			4.0	4.0	4.0	4.0		
採 気	採 気 量 (L)			2400	2400	2400	2400		
位相差顕微鏡	総繊維数濃度(f/L)	0.156	0.0709	0.241	0.0567	0.227	<0.056		
(PCM法)	総繊維数幾何平均 濃度(f/L)		0.14		0.089				
備	備考								

測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第4.1版)環境省H29.7」の位相差顕微鏡法

- ・計数対象: 位相差顕微鏡を用いて、長さ5µ m以上、幅3µ m未満で、 かつ長さと幅の比が3:1以上の繊維状物質を計数の対象とした[総繊維数濃度]。
- ・計数方法:同一試料について計数を複数回実施し、その平均値とフィルターブランク値の差を計数値とした。
- ・検出下限値:0.056f/L ・検出下限値未満の場合は、<0.056とする。ただし幾何平均の算出には0.056を用いた。
- ・三日間の測定値がすべて検出下限値未満の場合は、幾何平均濃度をN.D.とした。